

平成30年度 放射線（診療）業務従事者の教育訓練（講習会）開催記

神奈川県放射線管理士部会
（横須賀市立市民病院） 田島尚人

平成30年度「放射線（診療）業務従事者の教育訓練（講習会）」は平成30年5月20日（日）に聖マリアンナ医科大学病院 本館3階 大講堂で開催いたしました。

主催は神奈川県放射線管理士部会、共催は神奈川県核医学研究会、神奈川県放射線治療技術研究会、後援は(公社)神奈川県放射線技師会、(公社)日本放射線技術学会・関東支部、日本放射線公衆安全学会、日本放射線治療専門放射線技師認定機構、日本核医学専門技師認定機構、(特)日本核医学技術学会による開催です。

放射線障害防止法等、現場で実際に関係する各種法令を踏まえ、より現状に則した放射線管理の実践に役立つ内容となるように準備いたしました。

講義1. 「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取扱いⅠ」（高線量率小線源治療の管理と臨床）は、
下貴裕氏（東京西徳洲会病院 放射線医学センター）を講師に、小線源治療による加速乳房部分照射（APBI）について従来の全乳房照射と比較したときの治療効果やその期間について、小線源治療の品質管理と安全管理について、ご講演いただきました。



講義2. 「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取扱いⅡ」（女性技師から見た放射線治療の面白さ、難しさ）は、関根さと氏（聖路加国際病院）を講師に、乳がんの患者さんが多い聖路加国際病院では女性技師にもっと多く担当して欲しいと要望があり、女性技師の立場から、放射線治療に対する面白さと難しさについて、ご講演いただきました。



講義3. 「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取扱いⅢ」（当院放射線治療センターの特色と看護師の役割）は、齋田真由美氏（大船中央病院 放射線治療センター）を講師に、初診から看護面談、治療開始、治療終了後の経過観察までの流れ、放射線治療の副作用とそのケアについて、ご講演いただきました。

ランチョンセミナー「目的別X線測定器の紹介」はトーレック株式会社 江刺 祐弥 氏を講師にX線測定器を精度管理用、被ばく管理用、環境測定用と目的別に分類して、ご紹介いただきました。

講義4.「放射性同位元素及び放射線発生装置等による放射線障害の防止に関する法令」(改正RI法の概要と現場対応)は、渡邊 浩 氏(群馬パース大学 保健科学部 放射線学科)を講師に、放射線障害防止(RI)法改正の概要と課題、今後のスケジュール等について、ご講演いただきました。



講義5.「放射線の人体に与える影響」(医療における被ばくと人体影響 胸部CT検査による発がんリスクを考える)は、島田 義也 氏(国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構)を講師に、放射線影響の基本とがんリスク、リスクが高い臓器についてお話しいただき、それらを踏まえて胸部CT検査による発がんのリスクについて、ご講演いただきました。



講義6.「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取扱いIV」(当院における核医学検査)放射線治療病室ならびに放射線取扱主任者業務等に関して、長瀬 智明 氏(神奈川県立がんセンター)を講師に、放射線治療病室開設時の経験談や、その運用方法、核医学検査室での放射線取扱主任者の業務について、ご講演いただきました。



講義7.「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取扱いV」(PET 検診施設における看護師の役割)は、地主 紫織 氏(日本医科大学健診医療センター)を講師に、推定下限値を考慮したFDG注射中の注射漏れの把握方法や心サルコイドーシスPET検査の前処置(糖質制

限食)における取り組みについて、ご講演いただきました。

講義 8.「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取扱いVI」(当院における放射線管理と教育訓練)は、神林 健児 氏(ゆうあいクリニック)を講師に、サイクロトロン の概要と非密封放射性同位元素の管理、放射性廃棄物の管理等について、ご講演いただきました。



講師の方々には充実した内容のご講演いただき長時間の講習会でしたが、参加者の皆様には最後までご聴講頂きました。本講習会で得た内容を少しでもご自身の施設で役立てて頂けたらと思います。今後も、神奈川県放射線管理士部会は、参加者の皆様の日々の放射線管理に役立つ企画と活発な意見交換を行っていきたいと思います。聞いてみたい講演、演習したい内容、企画、講師等ご意見・ご要望がございましたら、神奈川県放射線管理士部会 <http://krsv.umin.jp/> まで、ご連絡いただけたら幸いです。